

2026年度岡山大学経済学部経済学科

学校推薦型選抜Ⅰ・社会人選抜試験問題冊子

注 意 事 項

1. 配付物は、問題冊子は1冊（8頁）、解答用紙が2枚、下書き用紙は1枚です。
2. 試験開始の合図の後、問題冊子・解答用紙・下書き用紙を確認し、不足・汚損・落丁等がある場合は、挙手のうえ、監督者に申し出てください。
3. 2枚の解答用紙にはそれぞれ必ず受験番号を記入してください。
4. 問題冊子と下書き用紙は持ち帰ってください。

2026年度 岡山大学経済学部経済学科

学校推薦型選抜Ⅰ・社会人選抜試験問題（90分）

以下のすべての問題に解答しなさい。なお、問題1の解答には解答用紙（その1）を、問題2の解答には解答用紙（その2）を使用しなさい。

問題1 資料1の文章を読み、以下の問に答えなさい。

問1 下線部(1)について、ファーストフード店にとって収益を最大化しながら同時に消費者を密かに飼いならすことが可能になったのはなぜか、本文に即して200字以内で説明しなさい。

問2 下線部(2)について、ファーストフード業界が顧客拡大と人件費削減の両面で、格差社会の到来という新たなビジネスチャンスをものにしたのはなぜか、本文に即して200字以内で具体的に説明しなさい。

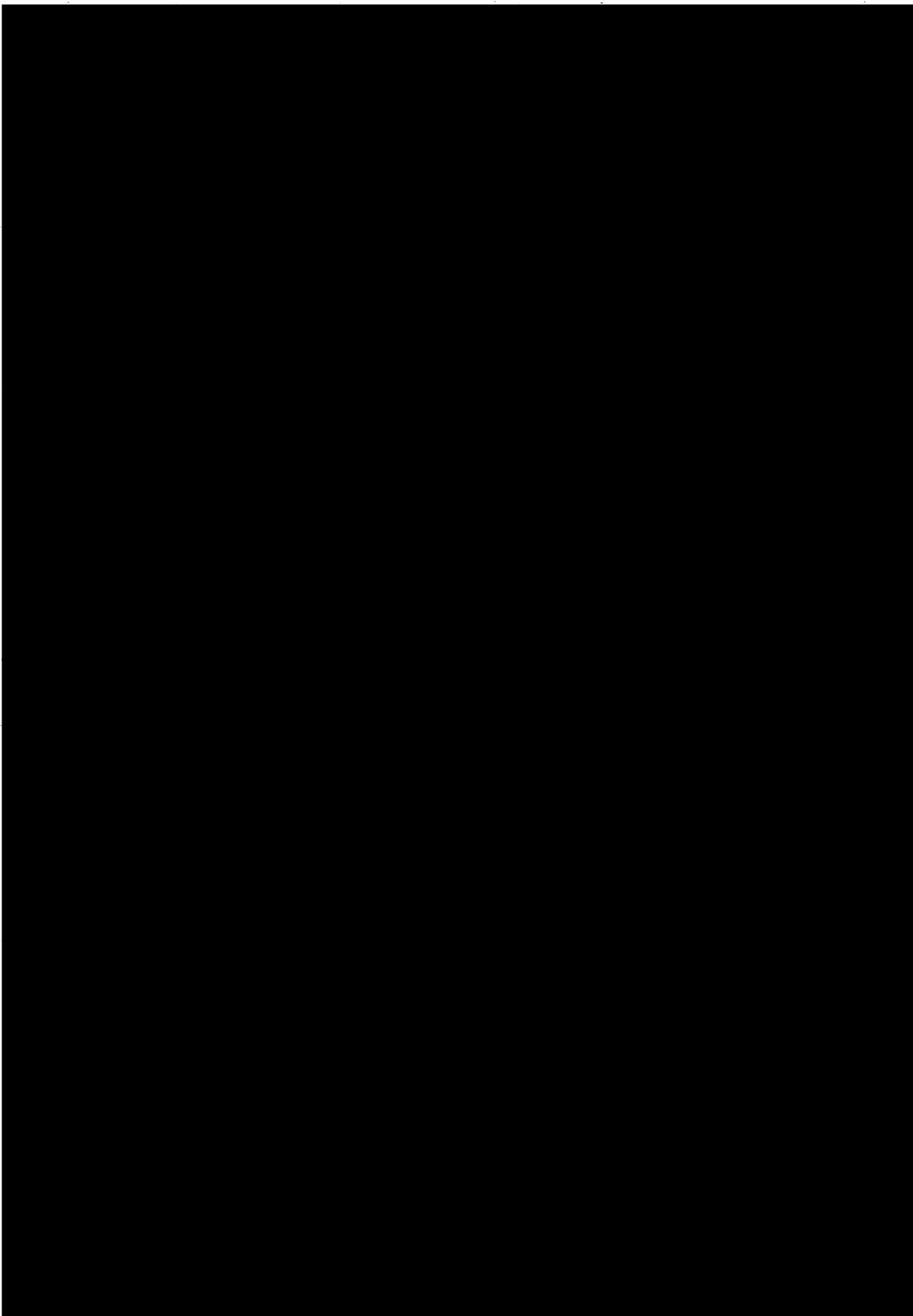
問題2 資料2の文章を読み、以下の問に答えなさい。

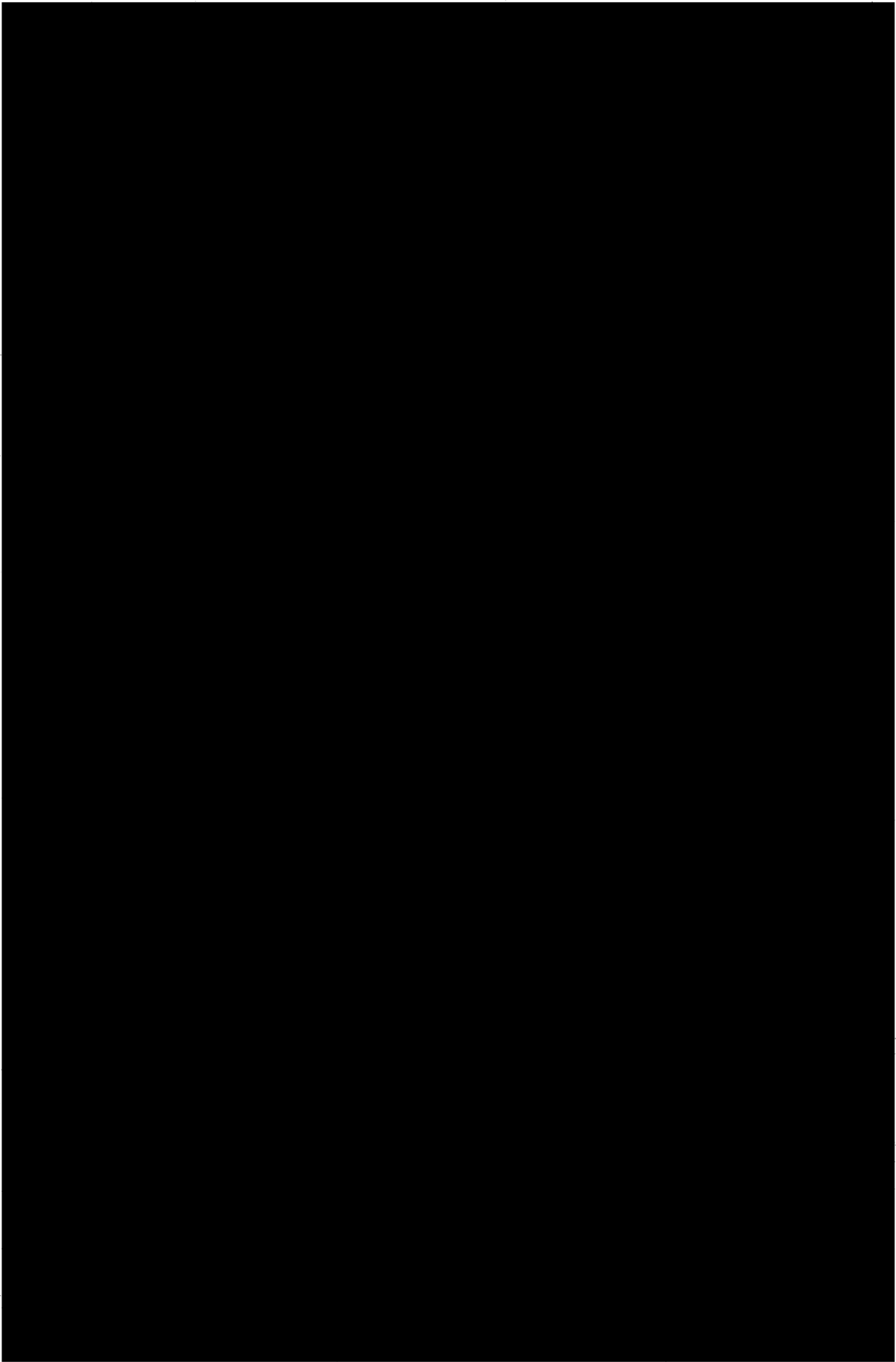
問1 共同体型システム、ジョブ型、自営型それぞれの働き方において、「休み方」はどのように位置づけられているか、本文に即して200字以内で説明しなさい。

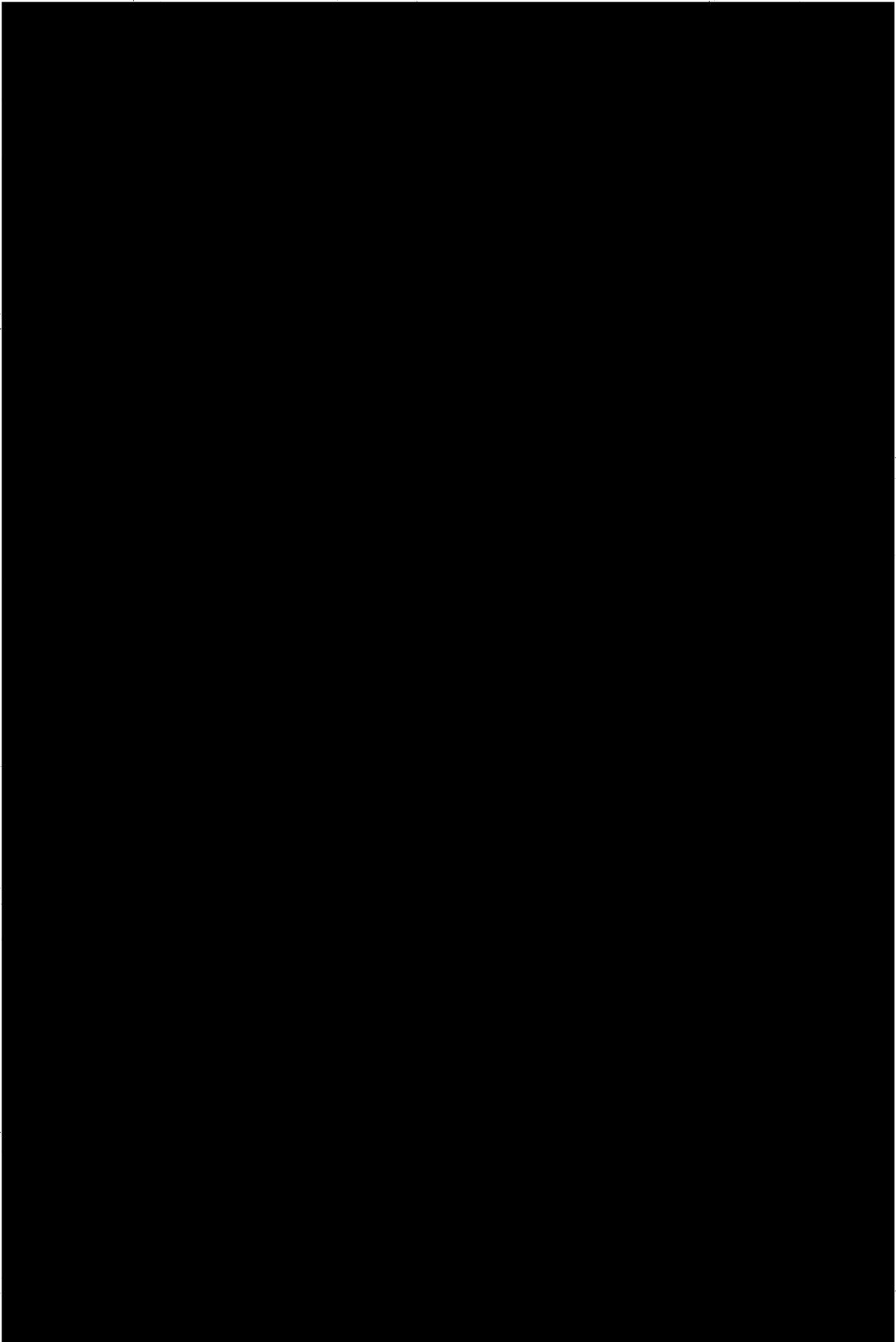
問2 筆者の議論を参考にしながら、これからのわれわれのワークライフバランスのあり方について仕事と私生活の境界に着目して、自分の考えを200字以内で述べなさい。

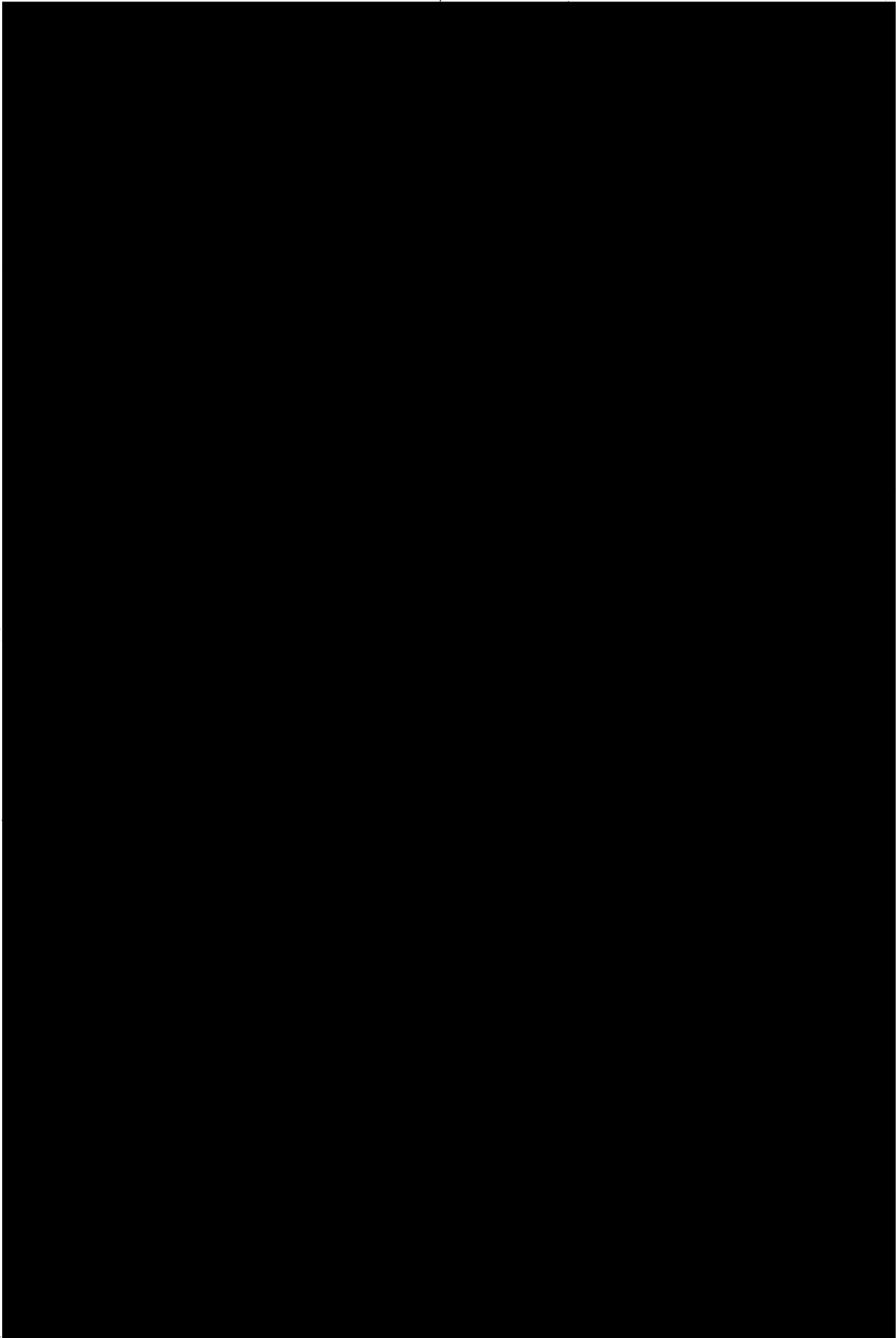
以上

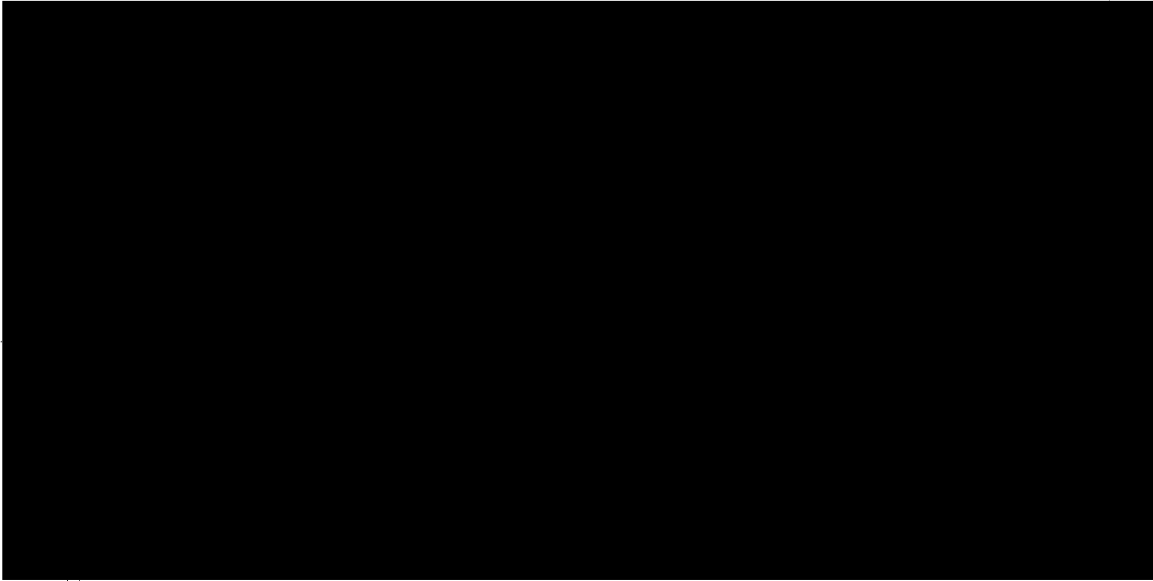
資料 1





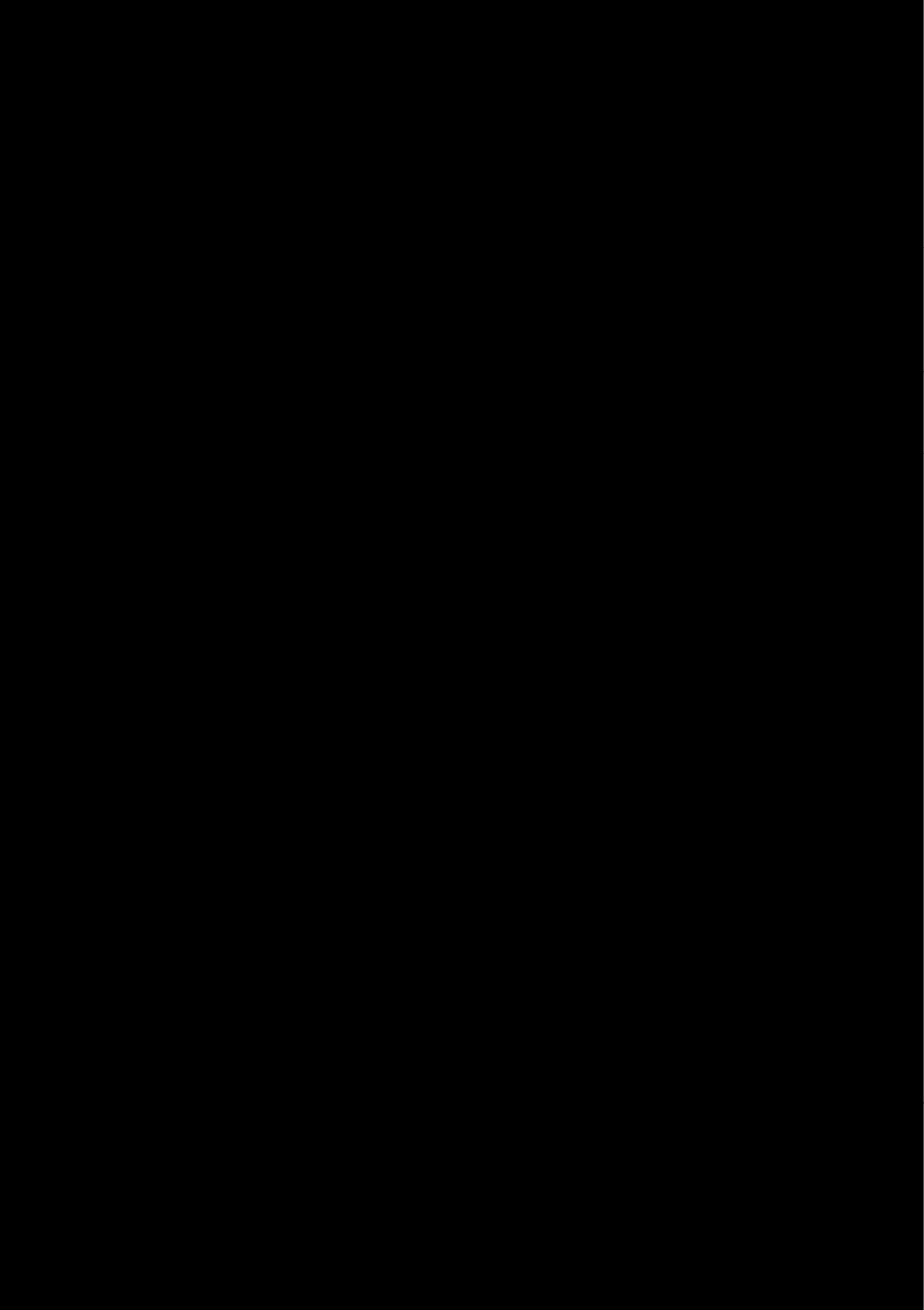


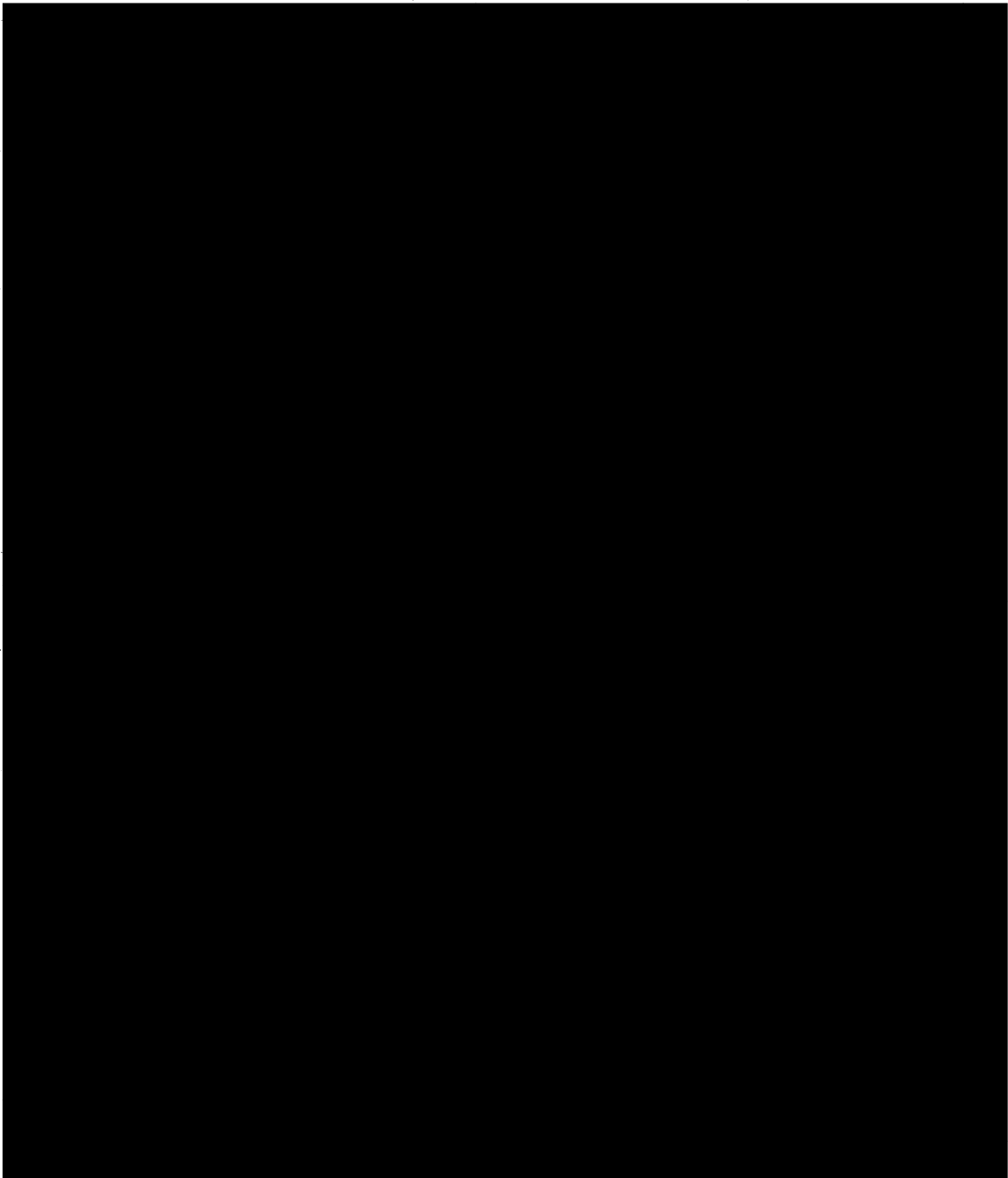




(出典：鈴木透著『食の実験場アメリカ ファーストフード帝国のゆくえ』中公新書、2019 年、176 ページから 184 ページ、一部省略・改変)

資料 2





(出典：太田肇「「休み方」の現在地（中）「自営型」労働で変わる余暇」、2025年5月5日朝刊 日本経済新聞 12 ページ『経済教室』、一部省略・改変)